

子ども未来創造委員会事業計画

子ども未来創造委員会 委員長 馬場 研太郎

便利で高効率な社会を目指して進化を続けてきた社会は情報通信技術を発達させ続けてきました。その反面、人間関係の希薄化や大人優先の社会風潮などの問題は、相手の表情を見てコミュニケーションを取る機会が減り、子ども達の表現力や思考力、そして共感力の低下に繋がる可能性があります。子ども達が更なる変化に適応し続け強く逞しく生き抜く力を身につけ、自主的かつ能動的に行動できる人材を育む環境を整える必要があります。

まずは、子ども達のコミュニケーション能力を高めるために、楽しみながら親子で普段言えない感謝の気持ちを伝え合い、自分の気持ちを素直に表現し、語彙力を上げることで、良好な人間関係を築ける人材へ成長します。そして、大人達が伝えることの楽しさを再認識するために、能動的にコミュニケーションを取ることで、子ども達の見本となる大人を醸成します。また、思いやり溢れる人材になるために、親子で向き合い、絆を深めることで、親子で成長できる好循環を実現します。また、県東地域の文化芸術教育として必要とされている創造美育を伝承するために、賛同者とともに新たな魅力を創出することで、地域の人々から開催を望まれる持続可能な美術展運営の仕組みを確立させます。そして、県東地域の子ども達が自由に発想し自分を表現するために、笑顔溢れる第 38 回芳賀教育美術展を開催することで、子ども達の自信を創出します。さらに、子ども達が鮮明なアイデアを湧き上がらせ自由に表現し続けるために、個性を評価され、多くの他者に認められる表彰式を開催することで、自信であふれる人材を生み出し続ける県東地域を創出します。

子どもも大人も思いやりを持ち、一緒に成長する環境は、豊かな人間関係を育み、お互いに良い影響を与え合いながら成長意欲や好奇心を掻き立てる好循環を創出し、県東地域を明るく照らす子ども達とともに限界を超え続け、地域から必要とされる人材になります。

〈事業計画〉

1. 子どもたちが力強く生き抜くための力を育む環境の醸成
2. 第 38 回芳賀教育美術展運営と次年度以降の方向性の確立
3. 事業で魅せる会員拡大
4. 日本青年会議所、関東地区協議会、栃木ブロックへの参加及び協力
5. 関東地区栃木大会の成功に向けて協力